



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No. 224(2024-2)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2024.2.1

発行者: (公社) 滋賀県理学療法士会 平岩康之
〒527-0145
滋賀県東近江市北坂町 967
びわこリハビリテーション専門職大学内

編集者: 小倉 正和 (公立甲賀病院)
大谷 明日輝 (公立甲賀病院)

印刷所: (有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

ご挨拶

皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本会運営にご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、この原稿を書き始めたときに、大きな揺れを感じました。その後能登半島で大きな地震が起こったとのニュースが入ってきました。また、次の日には羽田空港で JAL 機と海保機が衝突、火災となり海保機の乗務員が死亡するといった大きな事故がありました。亡くなられた方々、その家族の方には謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

被害にあわれた方々には謹んでお見舞い申し上げます。執筆の時点では多数の死傷者が出ている模様ですが、まだ、救助活動を継続している段階でまだ犠牲者は増えそうです。日本理学療法士協会は他団体と協力し日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT を結成し、災害に関する学習と災害時の支援を行ってきました。東日本大震災、熊本大地震などの折には現地に赴き、避難所の環境調整、障害予防などに活躍したと聞いています。滋賀県でもリハ医、作業療法、言語聴覚、理学療法の各団体より担当者をもちより、滋賀 JRAT を立ち上げています。避難所生活が長期化すると廃用症候群の進行など様々な健康被害が現れます。そこで、我々リハビリ関連職種の専門性を活かして活動することが重要になります。

いざというときに、適切に活動するためには、日ごろからの準備、訓練などが欠かせません。普段と違うことがあると、何かとトラブルが起きやすいと思われれます。羽田の事故は執筆時にはまだ原因が判明していませんが、何か手順に齟齬があったのではないかと推測しています。やはり、日ごろからの緊急時の準備態勢をしっかりとしておくことが大切だと思わせた事例でした。滋賀では形上は JRAT を立ち上げてはいますが、十分に動ける体制までにはなっておりません。毎年研修を行うことや、JIMTEF 災害医療研修コースへの会員派遣など少しずつですが体制づくりを行っています。南海トラフ地震も起こると言われており、甚大な被害が予想されています。災害支援体制の構築は急務です。会員の皆様、所属施設長の皆様には災害医療に関心をもってください JRAT 活動にご理解ご協力いただけると幸いです。

最後に、本会では各保健医療圏域での活動、会員主体の事業企画を推進しています。本年度は役員改選の年でもあります。自分たちの手で作り上げ、自分たちの業界を盛り上げる、そういう団体になりたい、という思いです。役員選挙に出ることは会員の権利でもあります。経験年数などにはとらわれず、ぜひチャレンジしていただきたいと思ひます。

よろしくお祈り申し上げます。



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
会長 平岩 康之

理学療法士による成長期のスポーツ障害予防講習会 活動報告

おした整形外科医院 土山 裕之

令和5年度公募公益事業でスポーツに関わる小学生や保護者に対して、理学療法士による成長期のスポーツ障害予防講習会～子育て世代へ「理学療法士」の啓蒙～を10月22日(日)に総合運動公園布引体育館で実施しました。11名のスポーツに関わる小学生とその保護者の方で合計18名の方に参加して頂き、スタッフとして6名の滋賀県理学療法士会会員の方とびわこリハビリテーション専門職大学の学生3名の方が参加して頂きました。今回は小学生や保護者に成長期のスポーツ障害予防の観点から、参加者の身体能力測定として筋力(10m走、垂直ジャンプ)、バランス能力(片脚立位、リーチテスト)、敏捷性(全身反応時間、全身反応能力)を測定し、自分自身の身体の状態を理解して頂く事が出来ました。また理学療法士により個別に正しいケアやトレーニングを指導する事で、今後の障害予防に繋がる事を期待しています。

また理学療法士が直接関わる機会を持つ事で、子育て世代とその当事者へ向けて理学療法士という職業の啓蒙や社会的ニーズの発掘と理解の拡大に繋がる良い機会となったと思っております。

参加して頂いたスタッフの先生方やびわこリハビリテーション専門職大学の学生方、本当にお疲れ様でした。



令和6年度滋賀県理学療法士会活動助成事業のお知らせ

応募要領：

協会指定研究として「県民の健康増進に関わる研究」1編、助成事業要綱の内容に関わる研究1編を募集します。

助成事業要綱（滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能）の内容を確認の上、研究活動助成申請書を作成し提出してください。

研究はどの課題を選択したのかを記載し、①研究の目的、②方法、③予想される結果、および④仮説とそれに対する考察等を1000字程度にまとめ所定の用紙に記入して提出してください（原稿には①～④とわかりやすく見出しをつけること）。

また、研究発表までのおおまかな研究計画予定（タイムスケジュール）および研究に必要な経費（基本的に8万円まで）の概算を所定の用紙（様式1～4：滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能）に記入して下記送付先へメールまたは郵送で提出してください。

応募締め切り：令和6年4月30日

審査：

- 1) 令和6年5月
- 2) 基礎・臨床及びその他の分野の研究を各数編選出し、1編につき基本的に8万円以内の助成を行う。
- 3) 審査結果は本人宛に通知を行う。

研究助成該当者の責務：

選出された研究該当者は、令和7年滋賀県理学療法士学術集会にて、その成果を発表する。また、滋賀県理学療法士会学術誌「湖都」に掲載する論文を令和7年10月までに投稿する。それまでに教育部の許可なく他誌への投稿はしないこととする。

送付先：

大津赤十字病院 リハビリテーション科 中川 竜徳
〒520-0046 大津市長等1丁目3-15
TEL：077-522-4131 mail：ptkyouikubu@yahoo.co.jp

第2回ボッチャ滋賀カップ 2023 (滋賀県ボッチャ連盟主催) 協賛事業報告

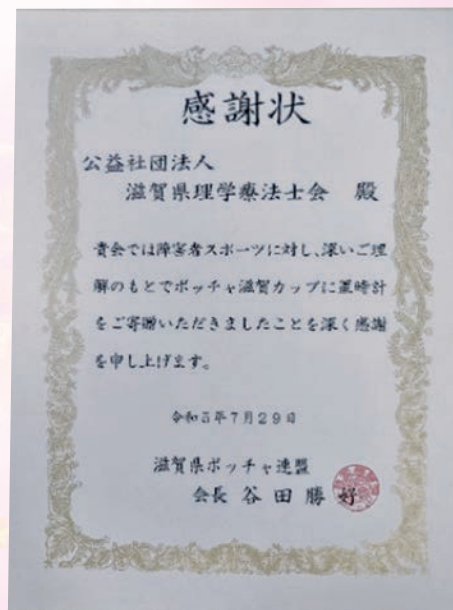
2023年7月29日(土)、第2回BOCCIA SHIGA CUPが、昨年と同じインクルーシブの大会として、滋賀県立障害者福祉センターにて開催されました。当士会は公益事業の一環として、昨年の大会横断幕に引き続き、今年は大会公式時計を協賛として寄贈させていただきましたが、感謝状を頂戴いたしました。

兵庫在住の日本ボッチャ協会A級審判を昨年同様にお招きし、公式ルールのもと3人対3人のグループ戦が展開されました。重度の障がい者、車いす利用者、聴覚障害者、年齢も小学生から若者・高齢者まで様々な方々が混成チームを作り、いつもは介助や協力者として障がい者の練習に参加されている方も、今日は選手としてチームメートなり、滋賀県内各地から8チームが参加されました。昨年は初回ということもあり、公式ルールやグループ戦に慣れていないチームばかりでしたが、今回はスムーズにゲームが進み、緊張したゲームばかりでした。

決勝戦は均衡する白熱した試合となり、優勝したのは、滋賀県で一番最初に発足したボッチャチームの「ライトニング滋賀」チームでした。パラリンピックや全国障害者スポーツ大会を目指し、日頃から練習を積み重ねている成果が発揮されました。

参加資格は、障害のあるなしに関わらず、小学生以上でしたら、だれでもOKです。来年こそは、皆さんもお申込みされてはいかがでしょうか。

公益社団法人 滋賀県理学療法士会



ボッチャ大会 士会員の参加者募集

滋賀県ボッチャ連盟が主催されるボッチャ大会が令和6年度も開催されます。これまで滋賀県理学療法士会としてこのボッチャ大会に協賛し、運営のお手伝いや物品寄贈を行ってきましたが、次の大会には滋賀県理学療法士会から1チーム（4名）の参加を予定しています。

つきましては、大会概要が発表され次第、参加者の募集を行いますので、士会員の方でご興味のある方は、是非参加のご検討をお願い致します。誰でも参加できるインクルーシブ大会ですので、障がいの有無を問わず友人やご家族などをお誘いいただいても結構です。

参加費および活動費用（交通費や昼食代）を厚生部が助成いたします。



昨年の大会の様子

車いすバスケットボール大会「BIWAKO CUP 2023」を終えて

LAKE SHIGA バスケットボールクラブ
(LAKE SHIGA BBC) 小島 慎弥

滋賀県唯一の車いすバスケットボールチーム「LAKE SHIGA バスケットボールクラブ (LAKE SHIGA BBC)」の小島と申します。

令和 5 年 (2023 年) 11 月 19 日に滋賀ダイハツアリーナにて車いすバスケットボール大会「BIWAKOCUP2023」を開催させていただきました。

本大会は一般社団法人滋賀県バスケットボール協会様ご協力のもと社会人バスケットボール地域リーグ、知的バスケットボール大会との合同開催で実施となりました。合同開催の効果とポスター掲示や SNS 発信による告知活動を実施していたこともあり、多くの方々に観戦いただき大きな声援で大会を盛り上げていただいたと同時に、激しくスピーディーな競技用車いすの接触や転倒の中の攻防といった競技の魅力を実感いただくことができました。

また、優勝チームには信楽焼、参加賞に特別協賛いただいたサラダパンをそれぞれ贈呈し参加チームには滋賀県の特産品に触れていただき大変満足していただきました。

滋賀県では令和 7 年 (2025 年) に第 24 回全国障害者スポーツ大会が開催され車いすバスケットボールは実施競技となっておりますので、本大会はこちらに向けてもよい PR になりました。第 24 回全国

1945 年頃にアメリカとイギリスで誕生した車いすバスケットボール。1960 年頃に脊髄損傷者のリハビリとして国内に広まり 1975 年に競技団体「日本車いすバスケットボール連盟」が設立され競技力向上と共に規則やルールの進化を経てパラスポーツをけん引する存在に成長してきました。現在では障がいを持つ選手だけでなく健常者が選手として参加できる公式大会も多く設定されており、パラスポーツの枠を超えたインクルーシブな競技になりつつあります。

全国的に多くの医療従事者が車いすバスケットボールに係わっておられ、取り分け理学療法士の活躍が目立っています。コーチ、トレーナー、マネージャー、審判、クラス分けと係わり方も様々ですが、近年は健常者選手として活動される方が増加傾向にあります。

健常者選手が増えることによりチームレベル向上やチーム活性化に繋がりますし、障がいを持つ選手と同じフィールドでしか実感できない感動や喜びを体験できることが車いすバスケットボール最大の魅力になっているように感じます。車いすバスケットボールを含めパラスポーツに少しでも関心を持たれたらまずは練習会場や大会等に足を運んでいただけると幸甚です。そして、人間の持つ可能性を引き出すことに力添えいただける担い手がますます増えていくことを願っております。

LAKE SHIGA BBC
ホームページ



LAKE SHIGA BBC
Instagram



滋賀県理学療法学会
The 39th Congress of the Siga Physical Therapy in PIAZZA OMI

日時：2024年6月16日(日) 大会長：高木 律幸

教育講演



エビデンスを利用した実践 (仮)

講師：阿部さゆり

全米 AT 協会公認アスレティックトレーナー

現在は PRI の代表を務める傍ら、依頼を受けての外部向けの講師や、AZCARE ACADEMY の講師兼エビデンス監修ディレクターとして勤務するほか、エビデンスに基づく実践 (EBP) の講習を行っている。



女性のライフステージ変化に合わせた理学療法 (仮)

講師：堀川麗子

理学療法士

米国理学療法協会認定 APTA (骨盤底コース 1 修了、産前産後コース 1 修了)

現在は堤整形外科にて女性専門リハビリテーションを担当し、長浜市妊娠・出産包括支援事業の委託事業を行い、理学療法士を含めた医療従事者向けの研修会講師や医療機関での講演会などを行っている。

企画紹介

✓ **生涯学習制度の後期研修履修中の方へ**

生涯学習部とのコラボ企画として E 領域別研修の症例検討会を開催予定です。

どの分野の症例検討会を開催するかは未定です。

発表だけでなく聴講するだけでもポイント取得が可能です。

✓ **運動器の理学療法に興味のある方へ**

運動器理学療法研究会とのコラボ企画として全県型研修会を学会内で開催します。講師やテーマについては現在調整中です。運動器理学療法研究会へは滋賀県士会の会員であれば誰でも入会可能ですので興味のある方は研究会の代表にご連絡ください。

✓ **スポーツ現場での理学療法に興味のある方へ**

スポーツ支援部、障がい者スポーツ支援部とのコラボ企画として、テーピング練習会を開催予定です。2025 年に迫った国民スポーツ大会で多くの理学療法士がスポーツ現場で活躍し、選手をサポートするための基礎技術としてのテーピングの技術向上を目的とした研修会です。

✓ **シンポジウムや一般公開講座も現在企画中です**

詳細が決まり次第、随時 SNS や HP で更新しますので、定期的にチェックしてください。



フェイスブック



Instagram



X (旧 Twitter)



大会 HP

問い合わせ先
Mail : shigapt2024@gmail.com
準備委員長 中久保

第12回 写真コンテスト投票結果発表

厚生部にて企画しました第12回写真コンテスト（作品テーマ：“自由テーマ”）には、合計25作品のご応募がありました。ご応募いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

今回の写真コンテストもWEB投票で会員の皆さんに選んでいただきました。結果は以下の通りです。

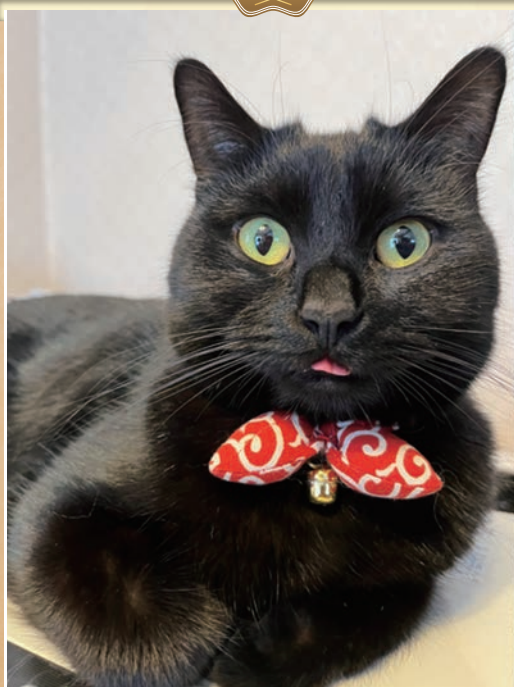
グランプリ



「未来へ駆け出せ」

近江温泉病院 中川 めぐみ さん

準グランプリ



「しまい忘れ！」

豊郷病院 吉田 環さん

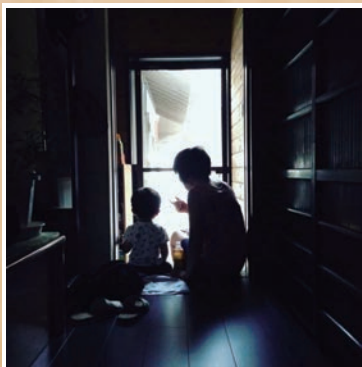
厚生部特別賞



「父娘」

洛和デイセンター音羽のさと 関野 美幸さん

優秀作品



「ねえ、ねえ、おばあちゃん。」

ここのちの郷 田中 滝彦さん



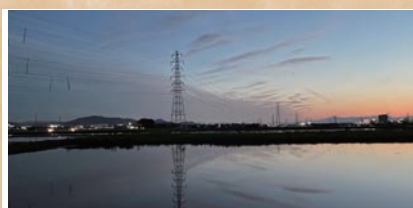
「夏の空に花が咲いた」

生田病院 田中 翔平さん



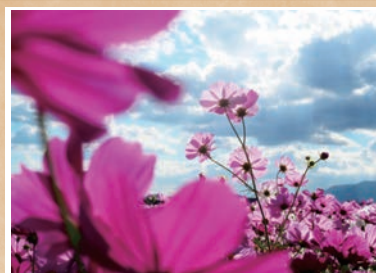
「radiata」

豊済生会守山市民病院
長坂 佳馬さん



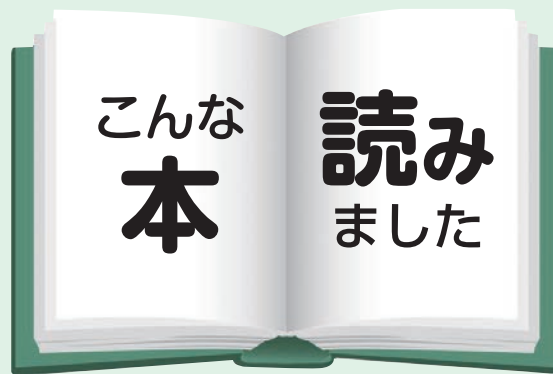
「田植え前の静かさ」

栗東診療所 久田 信吉さん



「コスモス」

近江草津徳洲会病院
武田 絵莉子さん



並河 孝

本の名前：『認知症の私から見える社会』

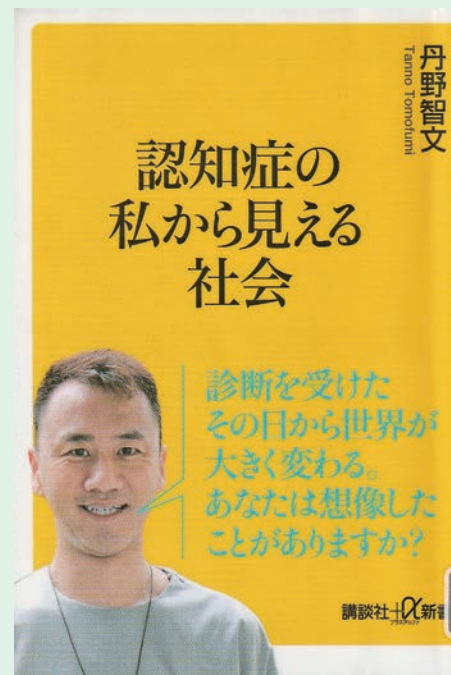
著者：丹野智文 (たんの ともふみ)

価格：800円(税別)

出版社：株式会社講談社

著者は、1974年生まれの若年性アルツハイマー型認知症と39歳で診断されて生活が一変したことを切実に述べている。認知症の人が執筆した本と聞くと「本が書けるの？」から始まる。認知症と診断されたその時から私たちの暮らしは、今までの生活とまるっきり変わってしまいますと述べている。しかしそれは認知症の症状のせいではなく、診断されたことで周りの人たちの意識が大きく変わってしまうようである。それは認知症になったら、何もわからなくなる等の間違った情報や重度の症状の情報だけが蔓延していたりすることによる誤解があることが問題と述べている。認知症と診断されても普通に会話ができ、笑え考えられるのに、周囲からすべて出来ないと言われる誤解が生じている。『認知症をきちんと知らない』から起きていると指摘している。それも診断直後よりそれが出来るとされる社会はおかしいと思っているとのこと、その言葉に返答できない自分がここにいる。

最終的には認知症の診断を受けた者が人生をあきらめることがなく、笑顔で前向きな生活ができることを願っていると書かれている。まさに今地域で実施されているサポーター講座と病院内での専門職の人権研修にも取り入れて頂きたい教科書的学習本でもある。著者は『認知症の本人の意見を聞いて欲しい』と基本的で当たり前のことが書かれている。患者不在の医療現場のことを鋭くやさしい言葉で書かれている。また家族の言葉で一番嫌な言葉が紹介されている。「今日はどこに行くの」と聞くと『忘れたの?』『さっきも言ったでしょ』と言われる。約束を間違えると相手に悪いし聞いただけなのに、そうされると聞くことも出来なくなる。また診察室で家族が先生(医師)と話をしているが全然自分の考えと合っていないと述べている。なぜ家族に聞くのだろうかと疑問に思うとのこと、笑い話のような話である。我々の現場でも起きていることで、多くの示唆を与えられる本である。是非ご一読して頂きたい。



滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

(a) は @ に置き換えてください

事務局 公文書発行

jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp 担当：佐々木 TEL/FAX: 0749-46-0001

※お問い合わせ等は、できる限りメールをお願いいたします。

入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

財務関係

kaikei(a)shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 川波 TEL/FAX 077-548-2670

発送物関係 総務部

reha(a)otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

発送物等あれば、25日までにお申し出ください。発送先の発送範囲についてもお知らせください(会員のみ、関連団体込など)。各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。原則案内の折込はしておりません。士会事業の案内はできる限り士会ニュースへの掲載・会員あてブラストメールのご利用をお願いいたします。

ホームページ原稿受付

jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp 担当：佐々木

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

士会ニュース原稿受付 広報部 shigaptnews(a)yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

介護報酬部 ptkaigohokennbu(a)yahoo.co.jp 担当：ナースステーションあうんケア栗東 片岡

診療報酬部 shigaptnews(a)yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部への問い合わせ」と明記してください。

生涯学習関係 生涯学習管理部

h-kawasaki(a)pt-si.aino.ac.jp 担当：びわこリハビリテーション専門職大学 川崎

TEL 0749-46-2311

厚生事業関係 厚生部 ptshiga_kouseibu(a)yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

公益事業部 shigapt_k_mk2016(a)yahoo.co.jp 担当：甲賀市立信楽中央病院 岸本

障がい者スポーツ支援部 ptshiga.parasports(a)gmail.com 担当：医療法人かさはら医院

編集後記

2024年が始まり、一か月が経過しました。本年は地震、JAL機の炎上と慌ただしいニュースから始まってしまいましたが、サッカーの近江高校の準優勝などうれしいニュースもありました。皆さんの一年がより良いものになりますようにお祈り申し上げます。

事務局便り

情報の更新をお願いします！

異動や退職等で住居を異動されたにも関わらずマイページの変更を行っていない方がおられます。郵送物が届かない等のトラブルがございます為、**職場・住居を異動されました場合は必ずマイページの更新をお願い致します。**

情報の更新で不明な点がある場合は日本理学療法士協会へ問い合わせをお願い致します。

士会からの郵送物の配送先について

士会からの郵送物に関して職場ではなく自宅への配送に変更を希望される方がおられます。県士会では職場を登録していただいております方は郵送料の観点から原則として職場へ郵送することになっております。また、職場の登録を削除されますと生涯学習の分野において支障が出る可能性がございます。

会員の皆様には不便をお掛け致しますが、職場への郵送となります事にご理解とご協力をお願い致します。

会員個人へのメール配信開始のお知らせ！

昨年5月末よりブラストメールを活用し県士会の情報を会員の皆様へ配信させていただいております。配信を希望される会員の方はマイページのメールアドレスの登録をお願い致します。また、会員個人へのメールを配信の開始に伴い県士会情報の管理者ネットワークへの配信を廃止致しました。ご理解とご協力をお願い致します。

揺るがない医療人へ



BIWAKO PROFESSIONAL
UNIVERSITY OF REHAB

びわこリハビリテーション
専門職大学



<本学HP>

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967 TEL:0749-46-2311